

2008年8月20日

苫小牧市長
岩倉博文様

北海道平和運動フォーラム
代 表 箱山富美子
代 表 江本 秀春
代 表 山田 剛

平和運動フォーラム日胆地域協議会
代 表 松坂 正治

申 入 書

日頃から住民の生活安定・向上に向けご奮闘されていることに心より敬意を表します。

さて、今回、エバレット（米・ワシントン州）を母港とするミサイル・フリゲート艦「フォード」が苫小牧港へ寄港したい旨、打診があったことが明らかになりました。これに対して貴市は、苫小牧市非核平和都市条例第5条に基づき、核兵器搭載の有無について「外務省」及び「在札幌米国総領事館」に照会を行い、その回答を待って最終判断をしております。

今回の寄港目的は「友好・親善」としてはありますが、こうした動きは、政府が自衛隊と米軍が一体となって「戦争をする国」をめざし、日本全土をいつでも米軍の基地として利用できるよう調査し、準備するという狙いをもつものです。度重なる米軍艦船の寄港は、苫小牧港を米軍の軍港にするための下準備であることは明白であり、核兵器の搭載の有無とかかわりなく市民の平和と安全を脅かすものです。私たちは、このような狙いをもつ米軍艦船の寄港には激しい憤りを感じるとともに、貴市が寄港を拒否することを強く求めるものです。

そこで、次の点について申し入れを行いますので、ご回答ください。

記

- 1 今回の寄港を許可しないよう求めます。
- 2 私たちは、「日米地位協定5条」には、通告だけで自由に寄港できるとの定めはなく、寄港を許可するか否かの判断はあくまでも港湾管理権を持つ苫小牧市長であると理解していますが、貴市の見解を求めます。

以 上